

建通新聞

振興基金

CCUSの就業履歴 蓄積促進へ新サービス

建設業振興基金は、小規模現場での建設キャリアアップシステム（CCUS）への就業履歴蓄積を促進するため、新たに電話発信で入場登録できるサービスを始める。コムテックス（富山県）と連携し、同社が運営するCCUS認定・入退場管理システム「キャリアリンク」の簡易版を10月から提供する。小規模現場

を請け負っている元請け業者向けのサービスで、従来のプランと比べ費用が格安となる。サービス期間は2026年3月末まで。

キャリアリンク簡易版のプラン名は「CCUSかんたんスタートキャンペーン」。初期費用と技能者のカードタッチ数への出面課金を基金が全額負担するため、元請け業

者側で必要となる費用は主に基本料金（1セット当たり約1万5000円、最大5セット）のみとなる。スタンダードプランと比べて、費用を10分の1程度に抑えることができる。

キャリアリンクは、CCUS認定システムの中で唯一「電話発信」で就業履歴の蓄積が可能なシステム。技能者が現場に入場する際に決められた電話番号に電話をかけた着信履歴を残すだけで、自動で入場記録が登録される。住宅など小規模現場を持つ事業者の間で、就業履歴蓄積の解決策としての利用が広がっているという。

CCUSについては、登録技能者が100万人を超え、一定浸透が図られてつつある。一方で、就業履歴の蓄積（カードタッチ）が進んでいない。就業履歴は、技能者がCCUSでのレベル判定を受けるために必要な情報であり、国土交通省ではレベル別の年収目安を公表するなど、レベルアッ

プを通じた技能者の処遇改善を目指している。こうした現状を踏まえ、基金では、就業履歴の蓄積環境が構築されにくい、住宅リフォームなどの小規模現場で利用を促進するため、本年度から、電話などによる簡易な入退場管理デバイスの実証検討を行うとしていた。

プを通じた技能者の処遇改善を目指している。こうした現状を踏まえ、基金では、就業履歴の蓄積環境が構築されにくい、住宅リフォームなどの小規模現場で利用を促進するため、本年度から、電話などによる簡易な入退場管理デバイスの実証検討を行うとしていた。